

## ARを使った公共事業・建造物 点検管理アプリケーション

人工知能の普及は業務に効率化向上をもたらすのか？  
 これまで行っていた業務は人工知能やロボットに置き換わるのか？  
 今、取り組んでいる AI/IoTソリューションをご紹介します、  
 AI に適した業務や不向きな業務を知るヒントをご紹介します。

申込みはこちら

日時

2022年1月20日（木）14:00～14:30

開催形式

Web セミナー（Zoom Webinar で配信します）

- ・視聴URLにつきましては、事前申込をいただいた方にご案内いたします。
- ・視聴の際、ブラウザへのアドオンのインストールが必要です。
- ・セミナー開始時間の15分前よりログインが可能です。
- ・環境や回線状況により、再ログインが必要になることや、画面がフリーズし、ご視聴いただけない場合もございます。
- ・本セミナーの録画・録音・撮影、および資料の二次利用は固くお断りいたします。

<https://www.nextg.co.jp/news/?p=123&preview=true>



2022年1月20日（木）14:00～14:30

ARシステムで建造物 点検業務

公共事業（道路や橋梁）や建造物の保守点検作業において、現場で劣化箇所を発見しそれを図面に記録、事務所に戻り、損傷箇所情報を蓄積管理のための整理・登録に膨大な時間を要していることと思います。

損傷箇所を画像認識し、その認識精度を高めるため大量の損傷箇所情報をAIに学習させ、AR技術を活用することで、現場での経年比較・劣化進行などを可視化し現場業務を効率的に支援します。



対象業務

- ・建設業
- ・建造物保守管理業
- ・自治体
- ・公共工事施主